



▶ 問い合わせ 市民協働推進課 ☎0287(62)7019

市民編集委員/阿久津一志 菊地千恵 鈴木房代 柳場美枝子 和氣喜美子

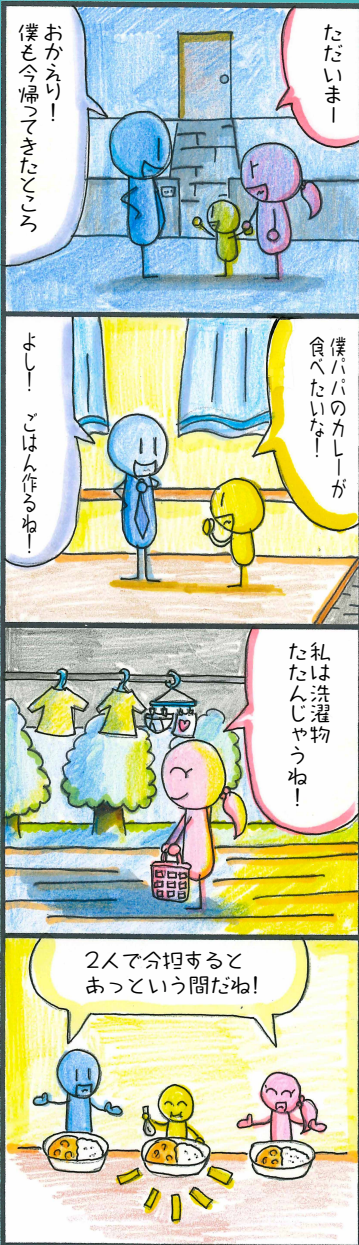
## 令和3年度「みんな」市民編集委員募集！

市では男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画情報「みんな」を作成しています。編集に参加してみませんか。申込方法などの詳細は市ホームページを確認してください。



バックナンバー、編集委員募集はこちら

### 「お父さんのカレー」



作:miina 絵:daisuke

### 今回のテーマは「地域」です

Uターンして経営コンサルタントとして活動する潮 一生氏・博恵氏夫妻に話を聞きました。



#### Uターンして事務所を構えたきっかけは

一生氏：大学卒業後、東京の会社に就職して約30年が経過し、一定の成果を得て仕事が一段落していたところ2015年に母が他界。葬儀に参列して下さった人々から、両親が地域社会の発展に貢献したというお話をいただき大きな感銘を受けました。「よし、ここまで育ててくれた故郷に自分も残る人生を賭けて恩返しをしたい！」と考え、翌年にUターンをしました。

#### どのように地域に関わっていますか

一生氏：主にはセミナーでの経営に関する講義や、ものづくり補助金の支援(採択実績は県内No.1)、那須塩原市商工会と連携した創業者支援などで関わっています。その他、劇団なすの主催「那須野の大地」に夫婦で出演したり、塩原温泉まちめぐり案内人の会に夫婦で所属したりして、地域資源のプロモーションに注力しています。

#### 男女共同参画の視点から地域の活性化について

博恵氏：東京と地方の格差がよく話題になりますが、地方は人々の人生の選択肢が限られているように感じます。色々な選択ができ、チャレンジできるということは豊かさでもあるので、地域を活性化するには欠かせません。多くの人が「自分にはこんな可能性が広がっている！」と感じられるようになるお手伝いをする、つまり「他人を価値化する」ような仕事がしたいですね。

“夫婦円満の秘訣は「相手をよく知ること」という2人に、お互いに対する想いを聞きました

博恵氏：自由な発想ができてすごいなというも思っています。

一生氏：人間の最小単位は2人ではないかと思っています。私にとって、いなくてはならない存在であり、感謝しかありません。

